四川省のビール生産量、10月は前年同月比26.8％減

1～10月の生産量は2,424万ヘクトリットルで、10.9％減。大規模工業企業を対象とする業界統計による

2026年11月18日（水）



11月17日火曜日に公表された業界統計によると、中国・四川省の10月のビール生産量は大幅に減少した。年初からの10カ月間に見られた全体的な減少傾向に、さらに拍車をかける結果となった。

China International Beer Network（Beerwとしても知られる）が伝えたデータによると、四川省の10月のビール生産量は139万ヘクトリットルで、前年同月比26.8％減だった。1～10月の生産量は合計2,424万ヘクトリットルとなり、前年同期比で10.9％減少した。

この統計は、中国の統計上の基準で「一定規模以上」に分類される企業による工業用ビールの生産を対象としている。中国のビール市場全体を示すものではなく、国内のすべての生産者を網羅しているわけでもない。

10月の落ち込みは年初来の減少率を大きく上回っており、すでに低調だった2026年に、さらに弱い月となったことを示唆している。公表値は丸められており、情報源も前年の実数を示していないた

め、減少量は推計にとどまる。公表された減少率に基づくと、10月の生産量は前年同月より約50万9,000ヘクトリットル少なく、1〜10月の累計では約297万ヘクトリットルの減少となる。これらは目安となる試算であり、公式に公表された差分ではない。

報道には9月のデータが含まれておらず、前月との比較はできなかった。また、在庫、出荷量、醸造所の稼働率に関する情報も示されていないため、生産量の数値だけから10月の減少要因を特定することはできない。

生産量は販売量や消費量と同じではないため、この違いは重要だ。需要が安定していても、醸造所が在庫を減らしたり、生産計画を調整したり、設備の稼働を見直したりすれば、生産量は減少し得る。追加データがなければ、今回の数値から、消費者需要の低迷、供給側の調整、その他の要因のいずれが減少につながったのかは判断できない。

Beerwは二次的な業界情報源としてこの数値を公表した。別の業界メディアであるYunjiuは、同じ数値の出典を四川省統計局としているが、原本の公式文書は直接確認できなかった。数値は当初、1万キロリットル単位で示されており、ここではヘクトリットルに換算した。

四川省は中国内陸部の主要省の一つであり、同省の工業用ビール生産量の変化は、中国西部で事業を展開するサプライヤー、流通業者、醸造会社にとって参考となり得る。単月でこれほど大幅に減少すれば、背景を示すデータがないとしても、醸造設備の稼働率や調達計画に影響する可能性があるため、注目を集めるだろう。

10月の数値は、四川省の醸造業界にとって厳しい年となっている兆候に加わる。10月までの累計生産量は2025年の同期間を大きく下回っており、10月に報告された前年同月比の大幅減によって、その差はさらに広がった。